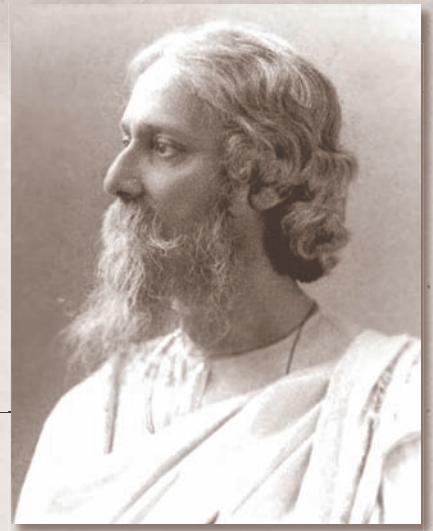


# タゴール生誕150年 記念会概要と ご協力のお願ひ



100年後（1896年著）

ラビンドラナート・タゴール（森本達雄訳）

いまから百年後に わたしの詩の葉を 心をこめて読んでくれる人 君はだれか—  
いまから百年後に？  
早春の今朝の喜びの 仄かな香りを、 今日のある花々を、鳥たちのあの唄を、  
今日のあの深紅の輝きを、  
わたしは 心の愛をみなぎらせ 君のもとに 届けることができるだろうか—  
いまから百年後に。  
それでも、ひととき 君は南の扉を開いて 窓辺に座り、遙か地平の彼方を見つめ、  
物思いにふけりながら 心に思いうかべようとする—  
百年前の とある日に ときめく歓喜のひろがり、天のいずこよりか漂い来て  
世界の心臓（こころ）にふれた日のことを—  
いっさいの束縛から解き放たれた  
奔放で うきうきした 若やいだ早春（ファルゲン）の日のことを—  
羽ばたく翼に 花粉の香りをいっばいのせた  
南の風が にわかにか 吹き寄せ 青春の色調で 大地を紅く染めたのを—  
昔の時代（とき）から百年前に。  
その日、生命たぎらせ、心に歌をみなぎらせて なんと詩人は目覚めていたことか、  
どんなにか愛をこめ どんなにか多くの言葉を 花のように咲かせたがっていたことか！

百年前の とある日に  
いまから百年後に 君の家（うち）で、歌って聞かせる新しい詩人は誰か？  
今日の春の歓喜（よろこび）の挨拶を、わたしは その人に送る。  
わたしの春の歌が、しばし君の春の日に こだましますように。  
君の心臓（こころ）の鼓動のなかに、若い蜂たちのうなりのなかに、  
そして、木の葉のざわめきのなかにも、こだましますように。



ベンガルの村の子どもたち

Photo by Anis Khondoker

タゴール生誕150年記念会

## 趣意書

東日本大震災で被害に遭われた方々へ謹んでお見舞い申し上げます。あの瞬間まで、こんな大惨事になるとは思いませんでした。被害に遭われた方々はまさか自分が、家族が、友人がこのような事態に遭うとは思いませんでした。なぜ、どうして、と。人知を超えた自然の脅威、人間がこんなにも小さいのかと思ひ知らされています。今までの繁栄と豊かさが問われ、私という存在も問われています。

太陽、月、雲、雨、川、樹、花、山……自然は絶えず私たちに語りかけていますが、忙しい私たちはそれに気づきませんでした。タゴールはこうした自然との交信ができる預言者でした。

タゴールは1861年5月7日、ベンガルに生まれました。詩聖として尊敬されたほか、音楽・絵画・戯曲・小説・思想・哲学など、あらゆる面で優れた才能を開花させ、その深い智恵と高い精神性は、多くの人たちに多大な影響を与えました。

タゴールがその多彩な文化・芸術活動を通じて訴え続けたもの、それは「自然との共生」「東西の融合」「平和」でした。こうした理念を人々の間に広げるため教育にも力を注ぎ、シャンティニケタン(平和の郷)にタゴール国際大学を設立しました。また、民族の独立と自治の必要性を説き、マハトマ・ガンディーらの、イギリス統治からのインド独立運動を支持・支援しました。タゴールが作詞・作曲した歌が、インド国歌、バングラデシュ国歌になりました。さらに、ロマン・ロランやアインシュタインら世界の知識人と親交を深めるなど、その活動は世界的な広がりをもっていました。タゴールが生涯を通じて発し続けたメッセージは、国境、民族、宗教を超えて今なお光を放っています。

タゴールはまた、日本にも大きな影響を与えました。岡倉天心らとの交友を通じて日本への関心を高め、親日家となったタゴールの来日は、1916年から1929年までの間に5回に及びました。日本画の技法に感嘆したタゴールは栃木県出身の日本画家・荒井寛方をインドのシャンティニケタンに招き、インドの人たちに日本画を学ばせました。他にも、柔道教授のため招聘された高垣信造、またタゴール学園での茶の湯・生け花教授のため招聘された星マキらは日本文化の紹介に力を注ぎました。タゴールによって日印文化交流、日本とインドの友好関係の基礎が築かれたとあってよいでしょう。

明治維新以来、「脱亜入欧」をスローガンに西洋文明の模倣と軍備拡張の道をひた走りに走ってきた日本に警告を発したのもタゴールでした。当時の日本国民はこれを一笑に付しましたが、その後の日本はタゴールが危惧していた方向へ突き進み、破局を迎えました。

今年2011年タゴール生誕150周年を迎えるに当たり、タゴールが愛した日本でもこれを記念、タゴールの芸術とその思想にさらに理解を深め、彼が発し続けたメッセージを次の世代に伝えていきたいと考えます。そのために、私たちは記念事業を計画しています。本事業の趣旨にぜひご賛同いただき、記念会に参加されますことを心よりお願い申し上げます。

タゴール生誕150年記念会代表 河合 力

### ◆ 主な記念事業

- |             |   |
|-------------|---|
| ■ 5月7日～     | タゴールの詩の朗読 インド総合研究所のインターネットラジオ「ラジオ・ムンバイ」放送 |
| ■ 6月28日(火)  | タゴール生誕150年記念式典 インド大使館(限定人数)               |
| ■ 7月10日(日)  | 「タゴールと日本」講演と詩朗読 賀川記念館(神戸市)                |
| ■ 9月24-25日  | 「タゴールと日印文化交流」ナマステ・インディア 特別参加 出展と展示会       |
| ■ 10月15-16日 | 絵画と音楽で奏でるタゴール展 インド・ディワリ祭2011              |
| ■ 11月       | シンポジウム「なぜ今タゴールか(平和へのメッセージ)」               |
| ■ 秋         | 「タゴールの問いかけるもの」大学での講演と詩朗読                  |
| ■ 勉強会の開催    | タゴールの詩、音楽、哲学等の連続勉強会の開催                    |

事業の最新情報はホームページ、ブログにてお知らせします。

事務局 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7-1103 電話/ファックス:03-3470-5013

HP <http://www.jaip.org/tagore150japan/>

ブログ <http://d.hatena.ne.jp/tagore150japan/>

メール [tagore150japan@jaip.org](mailto:tagore150japan@jaip.org)

### タゴール生誕150年記念会 会員募集要項

この事業にぜひご賛同いただき、ご入会をお願い申し上げます。  
団体会員は1口10万円、個人会員は1口1万円(サポート会員寄付3000円)

1) 銀行振込 みずほ銀行横浜支店 普通口座“2807869”

名義 タゴール150JAPAN

2) 郵便振替(株式会社ゆうちょ銀行)

口座 記号“10290” 番号“26094961”

名義 タゴール150JAPAN